

ご案内

防災教室

平成 27 年度

技術講演会

聴講
無料

◆と き:平成 27 年 10 月 8 日(木)<13:30~17:00>

◆と ころ:エルガーラホール(株)西日本エルガーラビル 7階)

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-4-2 TEL092-711-5017

玄海島の被災状況(福岡県県土整備部砂防課提供)



講演 I 「地震当日と避難そして復興へ」

～福岡県西方沖地震あれから 10 年

発災直後から避難、そして復興への道のり～

玄界島 自治会長 上田 永(うえだ ながし) 様

成長する溶岩ドーム (1991. 10)

DEITz 提供



↑ 平成 17 年 3 月 20 日 10 時 53 分頃、福岡県西方沖を震源とするマグニチュード(M)7.0 の地震が発生。震源に近い玄界島では、家屋の 8 割以上が被災し 10 人が重傷を負った。しかし、住民の方々の適切な処置、避難により、死者はなく、火災などの二次災害も発生しなかった。あれから 10 年 復興への道のり

講演 II 「最近の火山噴火と噴火予知研究」

～火山災害に備えて 私たちにできることは何か?～

九州大学地震火山観測研究センター・センター長

清水 洋(しみず ひろし) 様

市街地に迫る大火砕流 1991. 6



DEITz 提供

↑ 平成2年11月17日、普賢岳が198年ぶりに噴火した。噴火活動は 5 年 7 ヶ月継続し、平成8年6月によろやく終息した。この間、火砕流や土石流により森や田畑は焼け、家屋は倒壊した。死者 41 名(行方不明者 3 名)、建物被害 2511 戸、あれから四半世紀が経過しようとしている。

◆申し込み方法

FAX、Eメール (左記連絡先まで)

または特設ページ予約フォームから

<http://fukuoka-geo.net/event/>



◆定員

200 名 (先着順)

◆主催 一般社団法人 福岡県地質調査業協会

◆後援 一般社団法人 全日本建設技術協会九州地区連合会

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

九州地質調査業協会

公益社団法人 地盤工学会九州支部

◆連絡先 福岡市博多区博多駅東 2 丁目 4-30 いわきビル

TEL 092-471-7221 FAX 092-471-5786

URL:<http://fukuoka-geo.net> E-mail:f-kyoukai@fukuoka-geo.net